

資 料 提 供

平成 25 年 4 月 24 日
農林水産局森林保全課
担当者：涌嶋・相良
内 線：3 6 9 4
ダイヤル：082-513-3694

「森を育てるナイター電力カーボンオフセット記念セレモニー」の開催について

1 趣 旨

「MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島 (マツダスタジアム)」のナイター照明に伴って排出される二酸化炭素を、県営林で取得したカーボンオフセット・クレジットでオフセットする。この取組を開始することを記念して、マツダスタジアムでセレモニーを開催する。

2 カーボンオフセットの取組について

1 年分のナイター電力発電時に排出されるCO₂を県営林の森林吸収量でオフセット(埋め合わせ)。



3 記念セレモニーの概要

(1)日 時

平成 25 年 4 月 27 日 (土) 13:45~13:55 (広島カープ対中日ドラゴンズの試合前)

(2)場 所

MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島 (マツダスタジアム)

(3)出席者

【マツダ株式会社】クレジット購入者・球場命名権保有者

代表取締役会長兼社長 山内 孝

常務執行役員 稲本 信秀

【広島市】スタジアム設置者

副 市 長 荒本 徹哉

【株式会社広島東洋カープ】スタジアム管理者

カープ代表 スライリー

【広島県】

知 事 湯崎 英彦

森づくりキャラクター モーリー



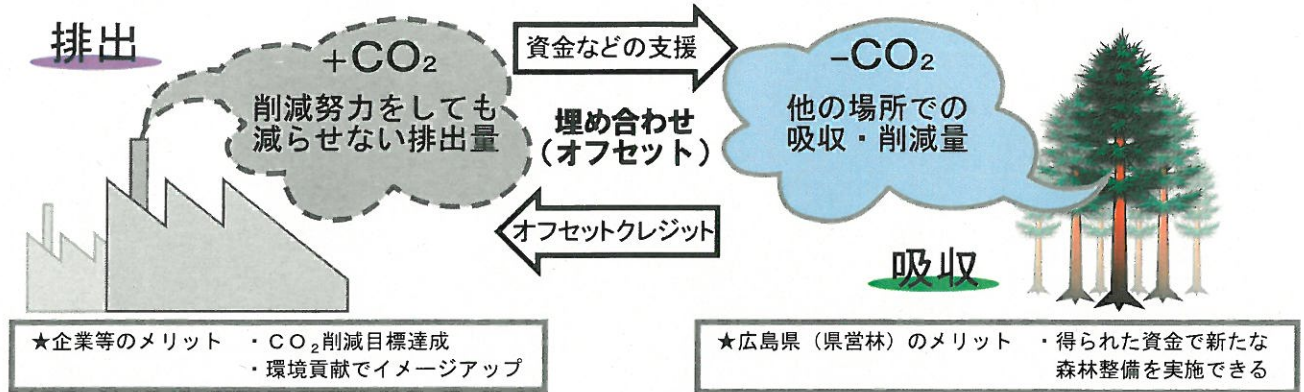
(4)内 容

森を育てるカーボンオフセットの取組の紹介 (大型映像表示装置)

湯崎知事から山内社長へ木製クレジット証書を贈呈

1 カーボンオフセットの仕組み

- ・企業活動等により排出されるCO₂を別の場所の森林吸収量や排出削減量で埋め合わせる仕組み。

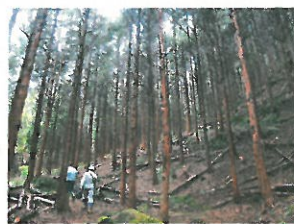


2 クレジットを取得した県営林 (重之尾 (しげのお) 事業区) について

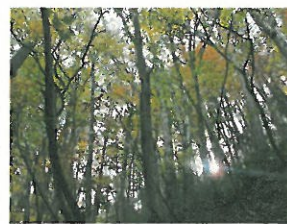
- ・事業区は、北広島町に位置し、ヒノキのほかミズナラなどの広葉樹が成育。



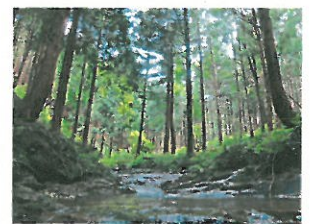
重之尾事業区の位置



重之尾事業区の若い
活力あるヒノキ林



四季の彩り豊かな広葉樹林



育まれた豊かな水は
太田川を経て瀬戸内海へ

3 クレジットを取得したプロジェクト (芸北水源の森 森林吸収プロジェクト) について



森林整備 (間伐) の実施

- ・平成23年度に重之尾事業区で44haの森林整備(間伐)を実施。
- ・環境省が所管するオフセット・クレジット制度「J-VER*」認証委員会による審査を受け、森林吸収量が認証された。
- ・平成23年度分の森林吸収量として185トン**、平成24年度分として253トン**のクレジット(J-VER)を取得した。

*J-VERはJapan Verified Emission Reductionの略。

**うち3%は災害対応等のための運営組織の留保分(バッファー)。

4 クレジットの販売について

- ・第1期販売分は完売(180トン)。
- ・第2期販売は平成25年3月8日から開始し、現在購入企業を募集中(246トン)。

一般的な家庭で1人が1年間使用するエネルギーを生み出すのに要するCO₂排出量は、約2トンに相当

5 マツダ(株)への販売経緯について

- ・マツダ(株)において、平成25年度のマツダスタジアムのナイター照明用電力の発電により排出されるCO₂を、地域貢献へのPR性の高い県営林J-VERでオフセットすることを検討し、3月11日に広島県へクレジットの購入を申込。
- ・3月19日に70トン分の売買契約を締結。
- ・その後、マツダスタジアムにおける取組開始を記念して、4月27日にセレモニー開催を決定。

6 新たなオフセット・クレジット制度について

- ・環境省所管の「J-VER」制度は、平成20年度から開始。
- ・平成25年度以降は、環境省の「J-VER」制度と経済産業省の「国内クレジット」制度が統合され、「J-クレジット」制度としてスタート(発行済みのJ-VERクレジットは、そのまま平成32年度までオフセットの使用が可)。